

8・6ヒロシマ国際対話集会—反核のタベ 2016



シンポジウム

日米の核をめぐる現状と進むべき道

—核兵器禁止条約（国連作業部会）・原発再稼働・憲法改悪—

2016年

8 / 6

土曜日

15:00 ~ 18:30

資料代 700円

(学生無料)

米国の原爆投下による大虐殺から 71 年、今なお米口など 9 カ国が 1 万 5400 個の核弾頭を保有、人類と地球を脅かしている。その 93% を占める米口の核軍縮は行き詰まり、両国とも核兵器の近代化に巨費を投じている。他方で、核兵器禁止に向けた国連の作業部会が大詰めを迎えている。全保有国が欠席し、被爆国日本は保有国を代弁して禁止条約に反対しているが、禁止条約支持が大勢であり、禁止条約が現実となる展望が開けている。そうした中で広島を訪問したオバマ大統領は、核なき世界への具体的行程を全く示さず、安保法制施行後の日本との同盟強化をうたった。安倍政権下の日本では、もう一つの核、原発の再稼働、輸出が進む。そして参院で3分の2の改憲勢力を得た安倍政権は、軍隊保持の明文化を最終目標とする改憲に踏み出そうとしている。日米の核をめぐる現状と核廃絶へ向けて進むべき道を日米のパネリストとともに考えませんか。

合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）

6F マルチメディア・スタジオ（広島市中区袋町6-36 電話：082-545-3911）

<パネリスト>

- 太田昌克さん ジャーナリスト 共同通信編集委員、論説委員兼務
「核をめぐる世界の状況と参院選後の日米核同盟」
- 小寺隆幸さん 原爆の凶丸木美術館理事長 京都橘大学教授
「アメリカでの「原爆の凶」巡回展と米国内の核をめぐる世論の動向」
- ピーター・カズニックさん アメリカン大学教授
「米の核政策と日米関係の現段階」
- 森瀧春子さん 核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表（HANWA）
「核兵器廃絶、原発廃絶、憲法改悪阻止のための課題」

<コーディネーター>

- 嘉指信雄 ICBUW-Hiroshima 代表 HANWA 運営委員 神戸大学教授

共催：核兵器廃絶をめざすヒロシマの会（HANWA）

NO DU（劣化ウラン兵器禁止）ヒロシマ・プロジェクト（ICBUW-Hiroshima）

連絡先：090-9064-4705（森瀧）